

2022（令和4）年度 第1回八尾市外国人市民会議【会議録概要】

日時：2022年9月7日（水） 午後7時から午後8時30分まで

場所：市役所本館6階 602会議室

出席委員：野中モニカ、桑名恵、ダーリントン ティカス イブラヒム、朴 洋幸

山内 雅之、トラン グエン ワン ヴィン、于 涛（敬称略）

事務局（人権政策課）：松月課長、阪田課長補佐、富田係長、諏訪

1. 開会

2. 委員紹介

新任のトラン グエン ワン ヴィンさんの紹介

3. 会議進行

資料1 八尾市外国籍を有する市民の現状について、事務局より説明。

資料2 第2次八尾市多文化共生推進計画 進行管理表について、事務局より説明。

＜質問など＞

- ・やおコミュニティ放送での情報提供について、A Iアナウンサーの精度は高いのか。
⇒（事務局）日本語で読み上げられた原稿が自動翻訳で変換されていると思うので、意味が正確ではない部分があるかもしれない。中国語やベトナム語の母語話者に、しっかり確認してもらっているわけではないので、精度は把握できていない。
- ・市ホームページは5か国語以外の言語に対応することはできるのか。
⇒（事務局）対応言語を増やすだけでも費用はかかるので難しいと思う。

4. 意見交換

資料3 八尾市の多言語情報誌発信について、事務局より説明。

＜意見交換＞

- ・市がTikTokで動画の配信をしてはどうか。外国人市民にとって、動画や音声の方が理解しやすく、またアクセスもしやすいと思う。
- ・現在、市ホームページは英語、中国語、ベトナム語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語の5言語に対応しているが、八尾市の国籍別外国人数の変化によって、対応言語を増やすべきではないか。今はネパール国籍の方が急増しているため、ネパール語の自動翻訳があればありがたい。
- ・外国人は集住していることが多いので、一部の発信力のある人に情報が届けば、口コミなどで情報が広がると思う。
- ・外国人市民に、八尾市国際交流センターにある外国人相談窓口の存在をもっと周知しなければいけない。
- ・住民登録をするときに、もっと外国人相談窓口や国際交流センターのアピールをすることで、認知度アップにつながる。

- ・市役所内での多言語対応についても工夫してほしい。例えば、住民票や戸籍証明の申請書がおいであるが書いてある内容が難しい。少し日本語がわかる方なら理解できるように、項目を多言語にする、見本をおく等してほしい。
- ・外国人市民にとって、言語の問題から紙の情報よりも音の情報の方が取得しやすい。
- ・関心を持っていない人に情報を伝えることは難しい。必要になったときにアクセスしやすいところに情報を置いておく工夫が必要である。
- ・相談にこない人は困りごとがない、というわけではない。
- ・相談内容がコミュニティ内に漏れてしまわないか気にして相談できない人もいる。外国人相談窓口が安心して相談できる場所であることを周知する必要がある。
- ・八尾市ではYoutuber として活躍している外国人がいる。人材は豊富だと思うので、うまくその人たちの協力を得て、情報発信の工夫をしていけたらよいと思う。
- ・Facebook での情報発信が効果的だと思う。内容をシンプルにして見やすさ、わかりやすさを確保する必要がある。
- ・外国人市民にとって、市ホームページで知りたい情報を探することは難しい。簡単に探せないことから、市ホームページにアクセスしようと思わなくなってしまう。

5. 閉会